

令和4年3月4日

保護者のみなさま

橘小学校長 谷口 睦子

橘小学校 令和3年度 教育活動に関するアンケート集計結果について

春の訪れを感じる頃となりました。保護者のみなさまには益々ご健勝のことと存じます。本年度も余すところわずかとなり、再来週には卒業式、続いて修了式を迎えます。1年間本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、「教育活動に関するアンケート」には、多くの方からご回答をいただき、ありがとうございました。集計しましたので結果をお知らせします。



1 昨年度集計結果と比較し、成果として

- 今年度も97%の児童が「学校が楽しい」と感じています。
- 「毎日、朝ご飯をきちんと食べて、学校に来ている」と答えた児童が、昨年度よりさらに2ポイントアップし、97%になりました。100%まであと一息です。栄養バランスや適切な量を考えた食育の面についても指導を充実させていきたいと考えています。
- 「家庭では早寝早起きをさせている」は80%ではあるものの、前年度に比べ3ポイントの上昇、2年間で15ポイント上昇しました。ここ5年間で初めての80%超えです。生活習慣の改善は、学校生活の安定を意味します。規則正しい生活リズムが守っていけるよう、今後ともご協力をお願いします。
- 保護者の方への基礎学力に関する問い「おさんは読み・書き・計算などの基礎学力が身につけている」が、昨年度同様、9割越えの91%の評価となりました。さらに、「学校は、学力向上や学習の定着のために熱心に取り組んでいる」でも95%と高評価を得ました。2年間の本校の学力向上に対する取組を十分評価して下さっていると判断します。この評価に満足することなく、引き続き教職員一同、学習指導に創意工夫を凝らし、学習面のレベルアップを図っていききたいと考えています。
- 自尊感情や人権感覚を問う項目では「自分のこと(命・人権)を大切にしている」と答えた児童が昨年度に引き続き100%でした。学校や学級での人権教育はもちろん、日々の取組と家庭や地域の方々の支えが子どもたちの心に届いており、自分自身もかけがえのない存在であることを実感できている結果であると考えます。
- 「地震や津波の時の避難の仕方がわかり、行動できる」と回答した児童は100%でした。12月3日の和歌山県沖地震や1月12日のトンガ沖海底火山爆発による津波注意報発令のような自然災害も起きていることから、危機感をもって防災学習に取り組んでいく必要性を感じています。一方、保護者の方への問い「家庭では、地震・津波避難や防災について話し合いをしている」は82%に留まっています。学校でも引き続き、防災教育や安全対策を推進していきますので、子どもたちの生命の安全を守るために100%を目指して取組を進めていきましょう。
- 今回のアンケート調査では、昨年度比でマイナス評価は、児童アンケート22項目中3項目、保護者アンケートでは20項目中4項目のみでした。本校の取組を評価くださり、誠に感謝いたします。

2 課題として

- 児童・保護者とも高い割合で「学校が楽しいと感じている」という回答でしたが、3%と少数であっても楽しくないと感じている児童がいることについては依然として課題があります。児童一人一人に寄り添った、個に応じた児童理解を教職員の共通認識としていきます。
- 「家庭では、携帯やゲーム、アプリ・SNS、パソコン動画やテレビの視聴を長時間しないようにルールを決め、お子さんはそれを守っている」と答えた保護者は、昨年に続いて55%と保護者アンケート20項目中最も低い割合でした。この問題は深刻です。コロナ禍の影響は大きいと思われませんが、現代社会が抱える問題であり、本校の児童も例外ではないと考えています。WHO(世界保健機関)に病気で

あると認定された「ゲーム依存・ゲーム障がい」といったところまで、事態が深刻化する前に、学校と家庭、そして関係機関が連携しながら、改善策を模索していく必要があります。

- 自分で歩いて登下校する児童が年々減っています。コロナウイルス感染症の影響はぬぐえませんが、体力低下に関しては数年来、全国的課題であり、特に徳島県の場合は顕著です。さらに現代っ子の体幹の弱さや持久力の低さもよく指摘されています。毎日歩くことや外で元気に走って遊ぶことは「体力づくり」の基本です。日常的な姿勢の矯正・体幹強化と合わせて、改善していく必要性を強く感じます。
- 児童「自主学習も自分からできている」は昨年度より2ポイント増ではあったものの、58%と児童アンケート中、最も低い結果となりました。しかし、「タブレットを使った学習はよくわかる」と回答した児童は99%と高い評価を得たことから、子どもたちが関心をもって主体的に学びを掘り下げたり、興味をもてることを探究したりできるよう、支援をしていけるようにしていきたいと思います。

3 学校関係者評価委員会での意見

※今年度はコロナ禍で2月の評議委員会は開催せず、アンケート結果、およびこれまでの授業参観やHPの閲覧等でご意見をいただきました。

- 現在の学校教育は「鍛錬」の場面の設定が難しい時代と言える。最大の課題は“安全な危険”を如何に与えるかにあるように思う。そんななか、コロナ禍で大変な苦勞をされながら工夫を重ね、学校行事が実践されていることに敬意を表す。どうか、体も心も頭も如何に鍛えるか、安全に細心の配慮をしつつ、積極的に立ち向かってもらいたい。学校は子どもとともに教職員にとっても楽しいところであるべきであるとする。日夜大変な苦勞をされていると思うが、働き方改革「勤務時間内」で勝負するという意気込みを大事にしていきたい。先生方の疲れは、知らぬ間に意欲や活力が縮むことにつながる。どうかお元気で楽しい勤務を願っている。
- 以前から大きな社会問題となっている、教職員の働き方に関する特集が、先日新聞に掲載されていた。橘小学校においても、この厳しい現状下で職員が一丸となって子どもたちのことを第一にと、いろいろと取り組んで下さっていることに深く感謝する。
- 児童の評価において、100%が5項目もあることは素晴らしい。また、児童「自主勉強も自分から進んでできている」の項目が低い割合になっているが、児童の本音を聞いてみたい。コロナ禍の影響が児童、保護者の双方にどのようにあらわれているのかが気になる場所である。
- 学校は子どもにとって楽しい場所であり、それとともに勉強する場所である。その面で、アンケートが素晴らしい結果を示していることに敬意と賛辞を送りたい。そして尚、さらなるレベルアップの楽しさ、学びの追求を願っている。

以上の課題を教職員一同が真摯に受け止めるとともに、改善に向け、次年度の教育活動およびPTA活動に取り組んでまいりたいと考えます。そのためには、ご家庭のご理解とご協力が何より大切と考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

4 来年度に向けた取組方針

- 学校の教育活動の様子は、花たちばな通信や学年だより等でお知らせするとともに、学校HPでも新鮮な情報発信に努めています。保護者のみなさまの声を聞き、さらに工夫を重ねていきたいと考えます。行事予定については、毎月20日頃お手紙でお知らせする他、HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。
- よりわかる授業と学力向上に向け、教職員一同で2年間、授業研究や基礎学力定着を目指して取り組んできました。今後も、低学年からしっかりと基礎学力をつけるために授業改善を推し進め、上の学年へと積み重ねていく必要があると考えています。基礎学力定着のため、ご家庭でもご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 防災・減災意識を高める取り組みについても、お子さまの安心安全の確保に向けて見直し、地域の方たちと共に新たな活動を積み重ねていきたいと思っております。
- 保護者や地域のみなさんの声を聞きながら、子どもたちがいきいきと活動する活力ある「橘小学校」となるよう、教職員一丸となって、より前向きに取り組んでまいります。

